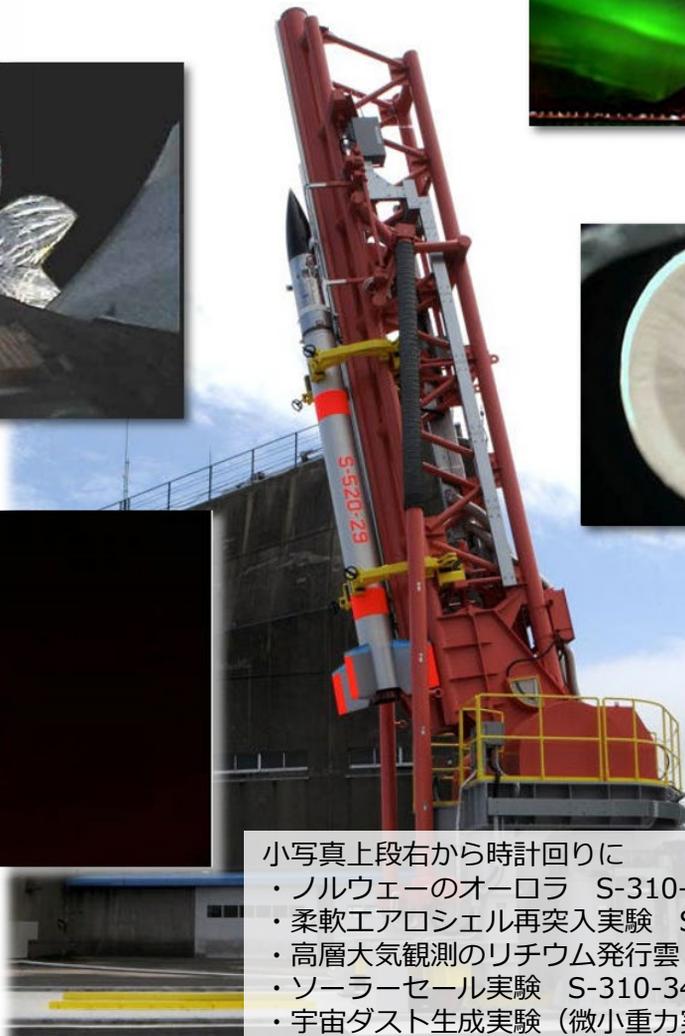
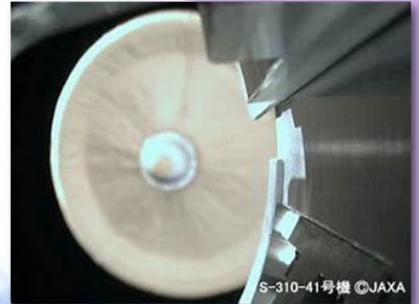
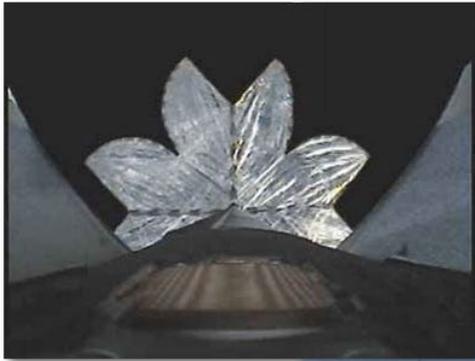
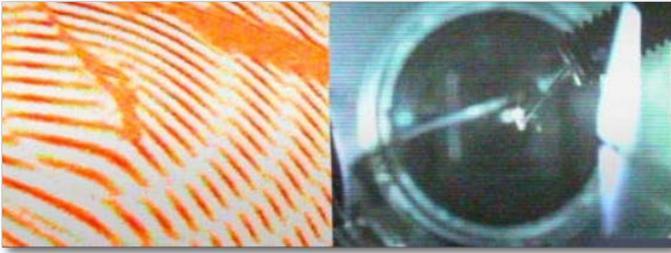


# 宇宙科学を支える 観測ロケット



小写真上段右から時計回りに

- ・ノルウェーのオーロラ S-310-35号機 他
- ・柔軟エアロシェル再突入実験 S-310-41号機
- ・高層大気観測のリチウム発行雲 S-520-23号機
- ・ソーラーセール実験 S-310-34号機
- ・宇宙ダスト生成実験（微小重力実験） S-520-30号機

## 観測ロケットとは

観測ロケットは宇宙科学観測等に向けて開発されたロケットで、高度100kmから1000km程度の宇宙空間を飛行しながら落下するまでの間に各種観測や実験を行います。気球が到達可能な高度は約50kmまでで、人工衛星の多くは高度250km以上を飛んでいます。その間の中間圏や熱圏、電離圏と呼ばれる空間を直接観測できるのは、観測ロケットだけです。

観測ロケットは得意分野であるプラズマ物理観測、高層大気観測などの理学観測の他にも、微小重力実験や大型構造物の伸展展開といった宇宙工学実験にも使用されています。

もっと詳しく知りたい人のために  
<http://www.isas.jaxa.jp/>

